

「あなた」を大切にする「心のふるさと“パリ日”」  
祝 開校50年 日仏文化学院

# パリ日本人学校

教育目標



明るく  
仲よく  
たくましく

令和4年度 学校だより  
第13号 3月2日発行

## “去る”3月 弥生のスタート！

～しめくりの月 卒業式まで9日・修了式・離任式まで16日～

“去る”月と言われる3月になりました。旧暦の3月を弥生(やよい)と呼びましたが、これはこの時期が「草や木がいよいよ生い茂る月」＝「木草弥や生ひ月(きくさいやおいづき)」であることから来ているようです。そういえば、校庭の桜の木も、蕾をふくらませていて、今か今かと咲く日を待っているようです。芝生には小さな白い花がたくさん咲き始め、冷たい空気とは反対に一足早い春が来ているようです。

3月3日は「ひな祭り」です。学校では立春を過ぎた頃からバスホールにひな人形を飾っています。日本ではない国にしながら、少しでも日本の伝統文化と接する機会を持ってほしいという願いから、毎年この時期に飾っています。



さて、小学部6年生と中学部3年生は、3月10日(金)が卒業式です。卒業式はある意味で、「学校における最大の行事」と言えます。主役は卒業生ですが、送り出す在校生がいてこそこの卒業式です。この節目の時は、これまでを振り返り、新たな道へ進むスタートラインに立つ意味もあります。「ワンチームパリ日」として、すばらしい式が迎えられるよう力を合わせていきましょう。

また、在校生の皆さんは、3月17日(金)に修了式を迎えます。これまで「3学期は0学期」と語ってきましたが、4月からの進級に備えて最高のしめくりにしましょう。仲間や担任の先生と、この1年間を振り返り、次の学年に生かせるヒントをたくさん見つけられるとよいですね。



皆さんの中には、フランスでの在住期間が長い人も短い人もいます。でも、このパリ日本人学校で学んだ「絆(きずな)」はこれからもずっと変わりません。「心のふるさと」として、いつまでも思い出に残ることでしょう。では、「有終の美」にふさわしい3月の一日一日を、お互い大切にしていきましょう。

## 卒業生保護者の寄付による記念樹植樹 2/28(火)

卒業式にあたり、小学部6年生と中学部3年生の保護者の皆様から、総額210€のご寄付をいただきました。卒業生の希望を聞き、校地内に開校50周年に合わせた卒業記念樹として、桜の木を植樹することとなりました。2月28日の午後、小学部6年生と中学部3年生の卒業生と担任の先生で木を植えました。また、記念碑も作成中です。開校20周年記念としてこの校庭に植えられた桜が、毎年きれいな花を咲かせ、私たちを楽しませてくれていますが、今回植えた桜も、この先ずっとパリ日を見守り続け、その時その時の子供たちや来校する皆さんに笑顔を届けてくれることでしょう。素晴らしい贈り物をありがとうございます。



## 小学部5年生 最高のおもてなし演出！ 一日体験入学 1/27(金)



4月から小学生になる幼稚園児の皆さんによる一日体験入学が行われました。今回、出迎えから見送りまで、4月から最高学年となる5年生が責任をもって行いました。

最初に現1年生担任の原田先生による体験授業や、1年生による楽器の演奏があり、小学校1年生の教室を体験してもらいました。

そして、次の時間からは、5年生のみなさんが見事なおもてなしぶりを発揮しました。幼稚園生をグループごとに分け、それぞれ担当を決めてお世話したり、校舎内探検に出かけたり、寸劇やゲームなどで楽しませたり、プレゼントを渡したりと、素晴らしいお兄さんお姉さんぶりでした。園児たちはきっと安心してパリ日に入学できることでしょう。ご苦労様でした。

## 小学部1年生 社会見学 マルモッタンモネ美術館 2/1(水)

パリ市内のマルモッタンモネ美術館を見学しました。長谷川先生の案内で全館を見学した後、モネの有名な作品がズラリと並ぶフロアで、自分が気に入った絵を模写しました。

1年生もさすがに3学期になると素晴らしい集中力で取組

む様子が見られ、成長を感じました。モネの作品が数多く展示されているこの美術館、ご家族でのんびり訪れるのにも絶好の場所かと思います。



## 小学部6年生 社会見学 ポンピドゥーセンター 2/10(金)

6年生がパリ市内のポンピドゥーセンターを見学しました。建物の前庭でお弁当を食べた後に長谷川先生を先頭に絵画を中心に見学しました。近代アートの宝庫だけに、途中からは抽象的な作品がたくさん登場してきました。



芸術作品は時代によって様々な特徴があることが手に取るようにわかる美術館です。まもなく改修工事で一時閉鎖になるようですが、一度ご家族でもご覧になるとよいですね。

## 探究学習の集大成 土曜参観「提言フォーラム」実施 2/4(土)

～保護者の皆様 多数のご来校ありがとうございました～



今回小学部1、2年生が生活科の発表を行い、テーマは「へんしん」でした。1年生はサンカンタン池公園やがり農園、朝顔、学校の自然観察の結果を、2年生は山下農園見学と学校農園での栽培の観察結果を発表しました。どの発表も元気いっぱい堂々に行えました。発表をするだけでなく、質疑応答で会場とのやりとりが行われていたことも素晴らしかったです。

小学部3年生以上のテーマは、世界に通用するグローバル人材の育成を見据え、『『パリオリンピック・パラリンピック』を通じて考える 今のわたしと未来のわたし～SDGsの視点による教育活動の推進～』でした。小学部3年生はローマ字入力を覚えてパワーポイントを活用しながらの発表ができました。小学部4年～中学部3年生までは、縦割りの混合班で行いました。中には保護者の方が感想を述べて下さるブースもあり、より開かれた発表となっていました。

今回の取組で学校としては以下を目指しました。

- (1) 考えを深めるために、学び合いやブレインストーミングを通して、最適化を図るための対話やディベートを可能にし、提言を創り上げていくこと。
- (2) プレゼンを通して、自分の考えや思いを自分の言葉で説明し発表できること。
- (3) ICTを活用し、必要な情報を選択して取り出し、自らメモした学びの地図や新聞づくりに生かしていくこと。
- (4) 常に友達の考えや意見をしっかりと聞き、自分の考えをもつこと。
- (5) 事象を多角的、多面的にとらえ、様々な視点からの見方考え方ができるようになること。
- (6) 自分の思いや考えにつながる情報を選択して集め、提言フォーラムに向けたパワーポイントを作成し、自分の言葉で発信すること。
- (7) 先生や講師の話の聞き、「学びの地図」や新聞を作成できること。
- (8) 質問や感想を持ち、発表を聞き、その学びの過程を自己評価できること。

全ての発表がこれらを満たしたものとはなりません。また、今回のまとめが完成品というわけでもありません。ただ、今回の調査や研究をベースに、さらに今後にわたって自分の課題を追求していく姿勢を持ち続けることが大切かと思っています。その意味で、提言はゴールでありスタートでもあると言えます。



## 小学部5年生 社会見学 NHK ヨーロッパ総局 3/1(水)



NHK ヨーロッパ総局の職員の皆様のご理解とご協力で、5年生が社会見学を実施させていただきました。児童を4つのグループに分けて、「現場中継体験」と「設備見学・スタジオ体験」をさせていただき、実際の放送現場で使用している機材に直接触れたり、番組を制作する体験をしたりしながら、時間があっという間に過ぎていく感じがしました。

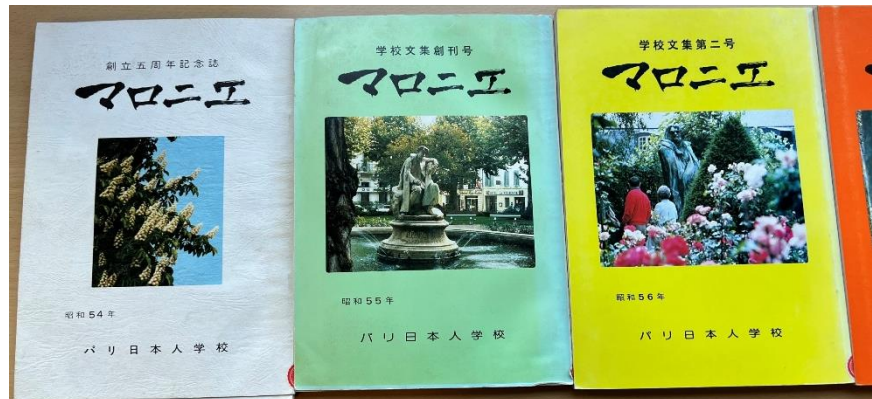
最後に質疑応答の時間を設けていただきました。子供たちのたくさんの質問に一つ一つ丁寧に答えていただきました。学校に戻り、子供たちは一人一人感想とお礼をしたためていました。ロシアとウクライナの戦争やトルコ・シリアの地震などでたいへんお忙しい日々にも関わらず、見学を受入れていただいたNHK ヨーロッパ総局の皆様にご心から感謝を申し上げます。

## “特集” 50周年 ～温故知新・パリ日の「宝」～

### 【第12回】「学校文集『マロニエ』」

昭和54年の本校創立5周年に合わせて「マロニエ」という名前の冊子が発行されました（左端）。これは「創立五周年記念誌」となっていて学校文集としての扱いはされていませんでした。

学校文集としての「マ



ロニエ」の創刊号は、翌年の昭和55年が始まりです。それ以来、歴史を重ねること40年以上、今回「マロニエ」第44号が無事発行されました（左下）。ご家庭には子供たちを通じてお手元に届いたかと思います。本校は3月10日の卒業式で、小学部では1454人目の卒業生を、中学部では811人目の卒業生を送り出します。しかし、この50年間、卒業式までは在籍していませんが、途中で転入したり転出したりした児童生徒は、卒業生の何倍もいました。実はそのほぼ全ての児童生徒の文章が、この「マロニエ」には載っています。この「マロニエ」は、いわば「パリ日の生き証人」です。これもまた「パリ日の宝」ではないでしょうか。